

私は今回フィリピン遠征に行かせてもらえるということを聞いた時、初めての海外遠征に、外国でプレーできるんだ！と思うだけですごく嬉しかったです！

と同時に、こんな貴重な体験をさせてもらえるんだから、絶対に無駄にはしてはいけないと思い、フィリピンに行く前に目標を決めました。一つは自分にとって何が必要なのかを知って武器をつくる！もう一つはフィリピンの文化を知り、テニスだけでなく人間的にも色々学んで、いいところはドンドン吸収する！ということでした。

でも日本とフィリピンでは環境も違うし、気温も違うし、文化も違うし、コートも違う……。その中で自分を高めて集中しないといけないということは私が思っていたほど簡単なことではありませんでした。実際、自分でプレーしてみて、その難しさがよくわかりました。私は最初のうちは試合をしても負け続きで、なんとなく集中しきれなくて、なんとなくプレーをして負けるという繰り返しでした。別に調子が悪いというわけでもないのに負けてしまう。なんでやろう？なんでやろう？と考えた時、気持ちが違うんだということに気づきました。環境の変化に集中できない、メンタルの弱さ……。これから、もっともっと上を目指して行く為には、メンタルの強さが何よりも必要になってくると改めて思いました。メンタルが～、メンタルが～、とよく聞くけど、正直そこまでメンタルが大事だということ、わかっていたようでわかっていた気がしません。この遠征でハッキリ気づくことができ良かったです。自分に欠けているものを自分で見つけることはとても難しいことだから、コーチとかにアドバイスされて気づくことも有りだと思うけど、結局は自分の身で感じたり、動いたりして、自力で欠点を克服するということが、これから重要になってくると思いました。

メンタルの他にも、積極性、粘り強さ、我慢強さなども大事だと感じました。相手がどういうプレーをするのか、どんな球を打つのか、どのボールが好きでどのボールが苦手なのかを探ろうとした時、自分が粘り強くラリーして相手の弱点を知ることも必要だと思うし、積極的に攻めて、サーブ&ボレーしたりして、絶対に決める！という意志で攻めていくことも大事だということがよくわかりました。もちろん、そうは言っても全部が全部やろうと思ってすぐにはできるものじゃないと思うけど、練習する上で常に意識を高く持ってプレーして行きたいと思います。

フィリピンの人は、本当に優しく、親切で、住んでる国も言葉も違う私に、気軽に声をかけてくれたり、気にかけてくれたり、一生懸命楽しませてくれようとしてくれてすごく嬉しかったです。英語がそこまで喋れない私でも身振り手振りで会話できて、言葉が喋られなくても伝えたい気持ちがあればわかりあえるんだ、気持ちは伝わるんだと思いました。フィリピンでできた友達と、帰ってきてからもメールのやり取りを、電子辞書片手に友達に訳してもらいながら楽しんでいます。フィリピンの人達と交流を深めることができ本当に良かったです。逆にもし外国の人が日本にやってきて一緒にプレーすることになった時、日本人は同じようなことができるか？と考えたら、日本人には難しいことだろうな～と思いました。そういういいところはドンドン見習っていかないといけないなあ、と思いました。私は今回のフィリピン遠征でたくさんの事を学びました。こんないい経験ができたのも色んな人が支えてくれているからだと思えました。

最後になりましたが、兵庫県テニス協会の方々、準備の段階でお世話になった方々、ホストファミリーの方々、フィリピンでお世話になった方々、いつも私を支えて応援してくれてる全ての方々にとっても感謝しています。

私は今回学んだ経験を色々な面で生かして行きたいし、決して無駄にしないようこれからのテニスに必ず役立てて行きたいと思っています。またいつの日かフィリピンでプレーできる日を楽しみに頑張りたいと思います。本当にどうも有難うございました。

